

貸館公演における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の具体例

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 事業課貸付係

当劇場において公演を行う際にご協力いただく具体例となりますので各項目についてご確認ください。

主催者において行う対応事例	国立劇場おきなわの対応事例
【入場制限について】	
<p>➤ 別紙座席表に基づく収容人数の制限 収容定員の50%に設定 ※入場券は指定席を推奨します。</p>	<p>➤ 使用不可とする座席の表示</p>
【公演前の対応】	
<p>➤ チラシ、チケット、ホームページその他の 広報媒体に以下の項目を記載し、来場 者へ周知を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 来場時はマスクの着用 ● 体調不良の場合は来場を控える ● 入場時に検温を行う ● 万が一に備え来場者全員の氏名、 連絡先(電話番号)を把握し、これ らの個人情報(保健所等公的機 関へ情報提供を行う (情報収集のタイミングはチケット販売時 または来場時いずれでも可) ● 上記の個人情報は厳重に管理し保 健所等への情報提供以外に利用し ない <p>➤ 稽古・打合せ等における出演者、スタッ フ等公演関係者の健康状態の把握(検 温、気管支症状の有無など)</p>	<p>➤ 当劇場ホームページ等で来場者へ一 般的諸注意事項を掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 来場時はマスクの着用 ● 体調不良の場合は来場を控える ● 劇場内ではソーシャルディスタンス を確保 ● 必要以上の接触、会話は遠慮する
【公演当日開場前の対応】 ※公演のお客様と公演以外のお客様の玄関を分ける。	
<p>➤ 来場者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 正面玄関で体温測定及び「健康状 態、往来歴の有無」の確認 (スタッフ3～4名程度配置) ● 配布用マスクの準備 ● 消毒液、手袋、除菌シート、フェイス シールド等衛生消耗品の準備 <p>➤ 37.5℃以上のお客様への対応</p>	<p>➤ 来場者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非接触型体温計の貸出 ● 検温実施のご案内ポップの準備 ● 健康状態、往来歴の確認ポップの 準備 <p>➤ ロビー、ホワイエ、トイレ付近など劇場内 各所に消毒液を配置</p>

<ul style="list-style-type: none"> ● 再検温、健康状態確認のため別室へご案内 ● チェックシートにより健康状態の聞き取り ● 入場をお断りする場合は返金対応準備 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 預かりチケット・当日券の販売時に購入者の氏名、連絡先の把握 ➤ ロビー内でのフィジカルディスタンス確保のご案内 (スタッフの配置) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 37.5℃以上のお客様への対応 <ul style="list-style-type: none"> ● 再検温コーナーの設営 ● 看護師の配置 (聞き取り内容に対するアドバイス等) ➤ 預かりチケット等販売ブースのビニール保護カバーの設置 ➤ ロビー内でのソーシャルディスタンス確保 <ul style="list-style-type: none"> ● ベンチ、テーブルの配置を工夫 ● 床面に整列の目印テープを貼付
【開場から終演までの対応】	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ もぎりはお客様ご自身にお願いするなど接触を軽減する工夫 ➤ 荷物の預かりは極力控え、備え付けのロッカーの利用を案内する ➤ 開演前、休憩中の劇場内での感染防止に関するアナウンス ➤ ホワイエ内で物品販売や展示を行う場合、滞留を防ぐ工夫 ➤ 退場時には密集にならないよう段階的な退場を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開演前、休憩中にトイレに列ができたときは別のトイレへご案内 ➤ 開場前、休憩中に客席内を感染防止に関する案内ポップを持って巡回 ➤ 接触を軽減するため、劇場内の扉は劇場スタッフにおいて開閉 ➤ ホワイエ内でのフィジカルディスタンス確保 <ul style="list-style-type: none"> ● ベンチ、テーブルの配置を工夫 ➤ 劇場内の換気システムにより外気を取り込み、環境基準を満たすようにする
【出演者、運営スタッフへの対応】	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 入退館時に楽屋口で滞留しないよう、段階的な入退館のスケジュールを組む ➤ 37.5℃以上の者、体調不良の者は入館を控える ➤ 楽屋は3密を避けるよう配置を工夫する (四方に2m程度間隔をあける) ➤ 出演者、スタッフは運営に必要最低限の人員とし、部外者の楽屋への立ち入りをお断りする ➤ 受付係と楽屋係はかけもちしないように配置する ※楽屋名簿に記載のない主催者スタッフは楽屋への入室不可とする 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 警備室において劇場入館前に検温と体調チェックを行う

【楽屋の利用について】	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 楽屋スリッパや楽屋備品は備え付けの消毒液で消毒して使用する ▶ 消毒できない備品は使用前に手指消毒を行う ▶ ケータリングはパッケージされた弁当やペットボトル飲料のみとし、多くの人が共有するウォーターサーバーの設置や大皿での提供は控える 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 密にならないよう楽屋ごとに人数制限を行う ▶ 消毒液、ペーパータオルの設置
【舞台上、舞台袖、舞台機構・舞台備品について】	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 舞台備品は消毒できないものが多いため、同伴の舞台スタッフはマスクの着用と使用前の手指消毒を徹底する ▶ 1本のマイクを複数人で使用する場合はその都度消毒を行う ▶ 出番前後以外で必要以上に舞台袖に立ち入らないよう配慮する ▶ お客様と接触するような演出(舞台へ登壇させるなど)は控える ▶ 客席最前列との距離が2m以内の場合、経過観察対象となり得ることに留意する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マイク用消毒液(または除菌シート)を準備し、使用前は消毒を行う ▶ インカム使用時は他者と共用しないように促す ▶ 舞台上の空調設備は換気のため停止しない (スモークの滞留具合や吊り物のゆれ防止等に影響する可能性)
【公演中に体調不良者が出た場合の対応】	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナが疑われる場合、ご自身でコールセンターへ相談するようご案内する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナが疑われる場合、ご自身でコールセンターへ相談するようご案内する。 ▶ 緊急性がある場合は看護師と相談の上、必要に応じて医療機関へ連絡
【公演後の対応】	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公演後最低2週間は公演関係者および来場者の名簿を保管しておく。 ▶ 感染が疑われる者がでた場合、保健所等からの聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保健所等からの指示に基づき主催者と協議し対応を検討する。

各項目はあくまで想定される事例であり、当劇場ガイドラインに適應した別の方法がありましたら貸付係までご相談ください。

※上記の項目にご協力いただけなかった場合、実際に感染者が出た際の消毒作業の費用は利用者様に負担していただくこととなりますのでご注意ください。